

2022年2月14日
国立大学法人 鹿児島大学
日本エアコミューター株式会社
日本航空株式会社

地域に根差したパイロット人材創出に向け SKYCAMP 第2期が2月21日より、いよいよ開講します

国立大学法人鹿児島大学(所在地: 鹿児島県鹿児島市、学長: 佐野 輝、以下「鹿児島大学」)、日本エアコミューター株式会社(所在地: 鹿児島県霧島市、社長: 越智 健一郎、以下「JAC」)、日本航空株式会社(所在地: 東京都品川区、社長: 赤坂 祐二、以下「JAL」)の3者による連携協定締結後に発足したSKYCAMPプログラムは、2月21日(月)に第2期の開講を迎えます。今回は文系学部生や女子学生を含む8名が選出され、株式会社 Japan General Aviation Service (所在地: 鹿児島県霧島市、社長 富永 義隆、以下「JGAS」)にて約2週間の操縦飛行を体験していただきます。

(*)2020年10月15日付プレスリリース『鹿児島大学とJALグループは、地域に密着したパイロット人材創出のための連携協力協定を締結します』<https://press.jal.co.jp/ja/release/202010/005799.html> 参照



「第1期 SKYCAMPの様子」

1. SKYCAMP の概要

学生たちには、JGAS や JAC 運航乗務員らを講師に迎え、操縦に関する基礎的な知識を学習しながら実際に鹿児島の空を飛行していただきます。期間中は、JAC 社員との交流会やシミュレーターの体験搭乗などを含むツアーを企画しており、全行程を通じて空を飛ぶということ、また鹿児島に密着した地域航空で働くということの魅力を伝えていきます。

2. SKYCAMP 後の流れ

- ① 参加者8名のうちパイロットとしての可能性を秘めた2名に対し、更なるパイロットライセンス取得訓練を提供。
- ② 養成機関にて必要ライセンスを取得したのち、JAC で地域航空の翼を支える一員として活躍していただく。
- ③ その間必要な資金に対する支援などを鹿児島大学・JAL・JAC より実施。

